



RELAY G10

パイロット・ガイド ▶

重要安全事項



警告

内部を開けないでください。
感電の恐れがあります。



警告: 火災や感電を防ぐため、ねじ等を外さないでください。この内部に一般ユーザーが扱える部品はありません。有資格のサービス担当者にお問い合わせください。

警告: 火災や感電を防ぐため、製品を雨や湿気にさらさないでください。

Radio Approvals: FCC Part 15.247, FCC Part 15 B, RSS-210 (カナダ)、EN 300 400 (ヨーロッパ)、EN 301.489(ヨーロッパ)、日本ラジオ放送帯 2.4GHz、VCCIデジタル装置クラス B (日本)、CISPR 22 (オーストラリア及びニュージーランド)
FCC Part 15の規準に適合することが証明されています。
CE適合宣言は<http://line6.com/compliance/>から入手可能です。

証明書

本機はFCC規定 PART 15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従って行なわれます: (1) 本機が有害な妨害の原因となってはならず、かつ(2) この本機が、意図しない動作の原因となる可能性のある妨害を含む任意の妨害を許容できなければなりません。

警告: Line 6により明示的に承認されていない変更を加えた場合、ユーザーによる本機操作の権原が無効になることがあります。

RF放射への露出に関する声明書: このトランスミッターは、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、それらと併用して操作しないでください。

注意: 本機はFCC 規定のパート15に従って、クラスBデジタル機器に準拠することがテストによって確認されています。これらの規制は居住地区で本機使用にあたり有害な干渉を防止するために設けられています。本機は電波エネルギーを発生、使用、放射しますので、取扱説明書に従って取り付けおよび使用された場合には、無線通信に有害な電波障害をきたす恐れがあります。しかし、そのような干渉が特定の配備環境下で起こらないことを保証するものではありません。本機によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば(これは機器の電源を一度切ってから入れるとわかります)、以下の手段の一つまたは複数用いて電波干渉避けてください。

- 受信アンテナの向きや置き場所を変更する。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店または経験の豊富なラジオ/TV技術者に問い合わせる。

クラスBの本デジタル装置は、カナダICES-003に準拠しています。

シリアル番号: _____



**これらの重要注意事項をよくお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。**



Relay G10 デジタル・ワイヤレス・システムをご使用になる前に、これらの取扱説明書の該当事項及び安全にお使いいただくための注意事項をよくお読みください。

1. マニュアルに記載されている全ての警告内容を遵守してください。
2. Relay G10 マニュアルに記載されていない点検、修理等のサービスオペレーションは実行しないでください。本機が次のような状態で損傷した場合には修理が必要です：
 - 本機の内部に液体が入ったり、異物が入ったとき
 - 本機が落下したり、雨や湿気にさらされたとき
 - 本機が正常に作動しなかったり、性能が著しく劣化したとき
 - 本機が落下したり、外装が損傷したとき
3. 暖房器具などの熱源や、熱を発生する器具の近くに設置しないでください。
4. 本機の中に異物や液体が入り込まないようにしてください。本機を水の近くで使用したり、設置しないでください。
5. ケーブルを踏まないでください。ケーブルが挟まれたり曲がると損傷する恐れがありますので、ケーブルの上に物を置かないでください。特にケーブルの差し込み部分と本機に接続する先端部の取り扱いには、細心の注意を払ってください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用してください。
7. 弊社により指定された付属品/アクセサリのみを使ってください。
8. 大音量で長時間使用すると、難聴や聴力障害を起こすことがあります。常に安全な音量で使用することを心がけてください。

システムの概要

- ・ クラス内最高のサウンド・クオリティを
 - ・ 24ビット非圧縮デジタル・トランスミッションで実現
 - ・ DAおよびADクラス最高のコンバーターによる、超低ノイズなトランスミッション(110dBよりも優れるダイナミックレンジ)
- ・ セットアップ不要の簡単操作
- ・ プライスタイルに最適なチャンネルを自動的に選択
- ・ 充電毎に最大8時間の連続使用

2.4GHzワイヤレスシステム

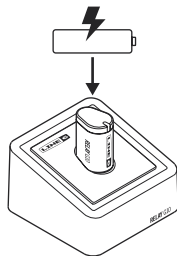
G10は2.4GHzワイヤレスシステムのため、他のRF送信機の近くにレシーバーを設置しないようにしてください。G10レシーバーは、他のRF送信機から少なくとも 3 m の距離を置いて設置する事をお勧めします。Wi-Fiルーター

G10 システムは、トランスミッターがレシーバーとドッキングさせてある場合、自動的に最適なチャンネルを選択します。WiFiや2.4GHzワイヤレスチャンネルを変更した際は、少なくとも 10 秒間はレシーバーにトランスミッターをドックさせてください。レシーバーの LED が白く3回点滅してチャンネルが変更されたことを知らせます。

同梱品:

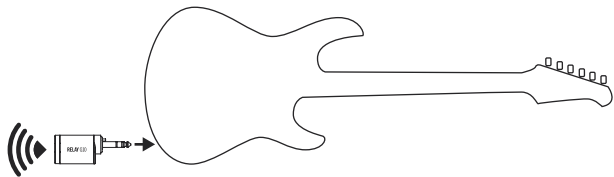
- ・ Relay G10T ギター・トランスミッター
- ・ Relay G10R レシーバー
- ・ USB-A -マイクロUSBケーブル
- ・ ユニバーサルUSB電源 (5V-1A) キットとユニバーサルACアダプターキット
- ・ クイックスタート・マニュアル、保証及び利用許諾契約

はじめに

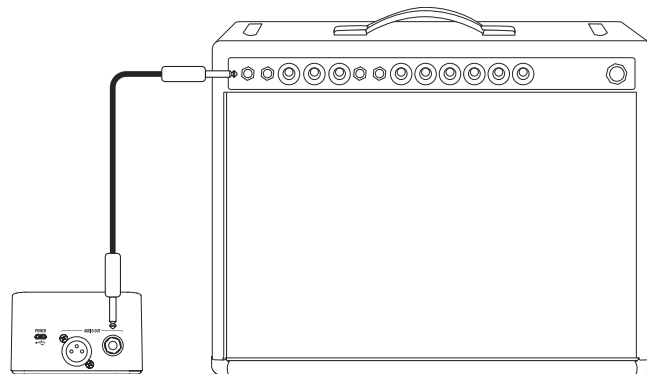


1. **トランスミッターをレシーバーに接続します。**この方法でバッテリーを充電します。トランスミッターの充電が完了するとLEDが緑色で点灯します。

トランスミッターとレシーバーは自動的に最適なチャンネルに設定されます。



2. **トランスミッターをギターに接続します。**



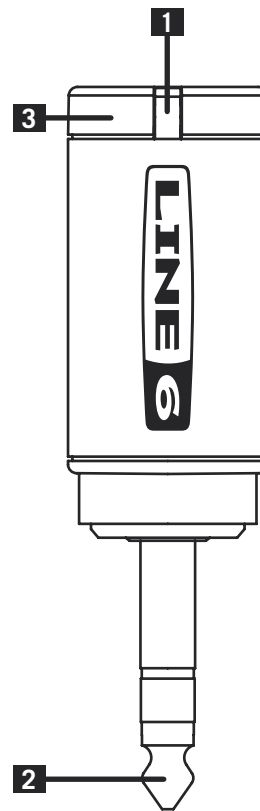
3. **レシーバーをアンプまたはFXユニットに接続します。**

トランスミッターの詳細

1. **バッテリーの状態** - トランスミッターの電源を入れた際、LEDが緑色に点灯している場合は、30分以上バッテリー駆動による操作が可能であることを示します。操作可能時間が30分を下回ると、LED が赤色で点滅します。

トランスミッターを充電するために、レシーバーに接続した際、バッテリー操作が30分を下回る場合は LED が赤色で点滅します。バッテリー操作が30分以上可能な場合は LED が緑色で点滅し、フルに充電されている場合は、LED が緑色で点灯します。

2. **ギタープラグ** - ギターへ接続します。
3. **アンテナ** - 調整済みの内蔵アンテナは、通常の使用において損傷、変形することはありません。性能を十分に発揮させるためにも、金属製のシートやアクセサリでアンテナを覆うことがないようにしてください。また、パフォーマーの身体にアンテナが直接触れることがないように注意してください。
4. **スリープモード** - オーディオ入力の無い状態が 4 分間継続した場合、バッテリーの消費を節約するためにスリープモードに入ります。楽器が演奏されるとトランスミッターは自動的に起動します。



レシーバーの詳細

- 1. マイクロUSB** - 主要DC5VDC/1A電源の使用と最新のファームウェアへの更新
- 2. 出力A** - 性能をフルに発揮する6.35mmのアンバランス型アウトプットは、ギター、ベースアンプ、ストンプボックス、またはマルチエフェクト・インプットへ信号を送ります。
- 3. 出力B** - XLRバランス型アウトプットはミキシングコンソール、PAシステム、オーディオ・インターフェース、または同様の機器へ接続するために用意されています。
- 4. LED ハロ** - マルチカラーLEDハロは、トランスミッターのバッテリーと無線信号の状態を表示します。G10トランスミッター側からの信号を正常に受信すると、ハロは白色で点灯します。トランスミッターのバッテリー残量で操作可能時間が30分以下になると、ハロは赤色で点滅します。白色で点滅するハロは、G10トランスミッター側からの信号を受信していない事を意味します
- 5. トランスミッター・インプット** - トランスミッターを充電する際、チャンネルを選択する際はここへ接続します。

